

5期13年の経験のもと 地元と国をつないできたこと



YouTube
@MakishimaOffice

地元の声を国に届けてきました。ご相談には共に解決方法を考え、支援メニューなどお示しし、必要な予算を確保する。地元の代弁者として「結果を出す」ことにこだわってきました。

Q 災害や台風、火山への備えは大丈夫？

- A 小田原から二宮に続く西湘海岸は国直轄の事業であり予算を獲得。酒匂川の防災対策、くず川の改修整備、大涌谷の対応と継続して進めてきました。通学路の危険な木の伐採、農地・茶園や新善波トンネルの復旧にも尽力！



Q 地域の医療、福祉、介護が心配。

- A 小田原市立病院が新しくなります。足柄上病院含め県西地域全体の体制強化を進めています。国民皆保険制度、介護制度が健康で長生きの基礎。物価高対策として医療現場への予算措置、介護従事者の賃上げも実現！分娩施設の存続にも取り組みます。

Q こどもがすくすく育つ学校であってほしい。

- A 「個別最適化の学び」を推進。「得意分野を伸ばし苦手を克服する」ことに着目した指標を地元の小学校にも。トイレの洋式化、避難所にもなる体育館のエアコン設置は必須です。予算確保と、地元秦野の工場で作られる最先端で低コストの機材を推奨しています。

牧島かれん
プロフィール

2012年に初当選を果たし、5期を重ねる。第2代デジタル大臣(行政・規制改革も担当) 元内閣府大臣政務官(地方創生、金融、防災担当)、博士(行政学)、狩猟(わな)免許、野菜ソムリエ、防災士、温泉ソムリエ ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

まじめに頑張る人が、むくわれる社会をつくる。

～イノシシから宇宙まで～

いま、誠実に生きる人が「息苦しさ」を感じる社会になっていないでしょうか。「こんなに頑張っているのに、なんで楽にならないのかな」と感じてしまう。そんな現状を、私は政治の力で変えたい。私は、政治家になることを目標とはしていません。政治家という立場は、「困った」を解決するための「道具」です。解決策を届けるという具体的で地道な活動を積み重ねます。

●「検討します」では、まちは守れない

地元選出の与党議員として、昨年の補正予算では、台風被害を受けた西湘海岸の保全に4億7700万円、長年の悲願である国道246号バイパス整備に5億4000万円の予算を確保しました。これが、地域を守ることです。

●地域の「守り人」がむくわれるために

消防団、民生委員、保護司、福祉や防犯、地域のボランティア、伝統文化の継承者など。この地域は、働きながら地元のためにもう一つの役目を果たしている「カッコいい大人たち」によって支えられています。

●忙しい人に負担を増やさない「やさしいデジタル」

デジタル大臣としての経験を活かし、「申請しなくてもすぐに給付が届く(プッシュ型給付)」ような、きめ細かい仕組みの構築を急いでいます。デジタルは冷たいものではありません。頑張るみなさんの貴重な時間を奪わないための「優しさの技術」であり、備えです。

外交は私の専門分野のひとつです。安全保障においては、経済安保のほか、宇宙、サイバー、電磁波、認知領域を守ります。

「まじめな頑張り」が、まっすぐにむくわれる明日へ。

牧島かれんは、ともに走り続けます。

まきしま
牧島かれん
自民党公認